

Vivienne's diary 2015 年 5 月

4/30 (木) : 息子のジョーとラムズゲートに。私たちの友人のナイジェル・アスキューがそこに住んでいます。彼は地元ラムズゲートの人気者で、ナイジェル・ファラージの対抗馬としてリアリティー・パーティーより出馬しています。彼は20年もの間二階建てバスを所有しており、それを人々からの関心を高めるために、正当な理由があるフェスティバルや、他の何か有益なことのために、それらのキャンペーンに使っています。例えば10年前、彼らはホームレスの人達にバスから食事を与え、シェルターやロンドンでのサポートのために効果的なキャンペーンを行ないました。

私がナイジェルに初めて会ったのは、マルコムのお葬式でカムデンからハイゲイト墓地までそのバスで行った時でした。そしてその時以来、フラッキング反対デモをベースとしてそのバスを利用し、そのバスで旅をしています。私たちは総選挙と地方選挙に出馬するナイジェルをサポートするため、ラムズゲートとマーゲートに来ています。また、ジョーの「エヴォリューション・カフェ」のオープンのためでもあります。オープンして2週間経っていますが、今日がローカルプレスも伴った公式なオープンの日です。



エヴォリューション・カフェのオープニングに。ナイジェルとジョーと。

カフェには美味しいヴェジタリアン・フードがあり、お気に入りにはビートバーガー（ビーツルート）です、とても美味しいのです。革新的なシェフの

トム・バタービーとジゼッペはまだ若く、ウェイトレスは地元の活動家の女の子達です。そのうちの一人、ローラ・ハケットがナイジェルキャンペーンのスピーチ原稿を書きました。素晴らしいアイデアは、そこで食事を楽しんだ人達は食事券を買う事ができ、それがボードにピン刺しされ、貧しい人達は誰でもその食事券をもらうことができるということです。

ある夜、一人の男性と女性が二人の子供達と一緒にカフェに入って来て、子供達に食事を与えたいから食べ残しでもいいからもらえないかと聞いてきたそうです。「私たちのことは問題ではないのですが、何でもいいので、ちよっとのパンだけでも、子供達のために。」と。

ジョーは言います、ラムズゲートは「アーティストが率いている」と。ロンドンを高く感じた人々がそこに移り住み、またリゾート地としています。かつては荒れ果てた町が修復されましたが、そこにはまだ貧しい人達も住んでいるのです。港は小さなボート、有名なグッドウィン砂丘で埋め尽くされ、本当に魅力的な所です。リアリティー・パーティーは 1000 票を越える票を獲得しました。ナイジェルは、彼のキャンペーンがナイジェル・ファラージの支持に多大な打撃を与えたと考えます。保守党が当選しました。

5/5 (火) : 午後 2 時、ジュリアンに会いに。午後 7 時にアンドレアスとナショナル・シアターに、バーナード・ショーの「人と超人」を観に。主演ジョン・タナーとドン・ファン（地獄のシーンで）役にラルフ・フィンズが、アン役にインディラ・ヴァルマが。初めに劇化されたのは、1905 年の社会主義時代でした。労働者の権利（労働組合を築き上げます）と、女性の権利のための運動です。

National
Theatre

M A N
+
S U P E R
M A N

A photograph of a man with a beard and a white bust of a man, with the text 'MAN + SUPERMAN' overlaid. The man on the left is looking down at the bust on the right. The bust is a classical-style sculpture of a man's head and shoulders. The background is dark and indistinct.

by Bernard Shaw

この劇の中心となるものは、男と女が完全にお互いに惹かれ合うというところ。彼は懐疑論者としてまた思想家（超人）として気高い孤独である独身の状態を維持したいと望んでいます。そして避けられない運命を避ける決心をします。すなわち彼は結婚に強引に引き込まれることはないでしょうし、あらゆる論理を否定するねじ曲がった若い女性によって、怠惰な中流階級の（男）の日常の繰り返しに引き込まれることもないでしょう。そういう女性は彼を困惑させ、丸め込む時に風変わりな予測もできない策略を使うのです。

避けることの出来ないエンディング意外、全ては予測不可能です。シーンも変わり、イングランドからスペインの山に山賊によって誘拐されます。アンから逃れる間地獄へ、夢の中で、ジョン・タナーはドン・ファンになり、グラナダのホテルに戻ってきます。

その構造が、キャスト全員の法外な見解をオンにします。テーマはそれら全部を逆さにすることによってイギリスのモラルを露出します。

劇は今日書かれる劇の3倍も多く、台詞があります。皮肉を含む台詞です。フィーンズはほとんどずっとステージの上に立ち、何百もある台詞を速やかに言います。バーナード・ショーは私たちに考えることを止める時間をくれませんでした。私たちは気を張りつめさせられっぱなしで、ひとしきりその動きを見過ごすことはありませんでした。このコラボは作家と俳優の名人技と言えるものでした。申し分のない技術。完全なる精神の集中。ブラボー！ブラボー！

劇にはファウストのテーマがあり、私は今ファウストの物語に一番興味を持っています。なぜなら今日の私たちは、権力と消費と引き換えに私たちの魂を悪魔に売ったと考えるからです。そしてもう時間切れです。

Don Juan in Hell was set "Beyond Space, Beyond Time" and the debate is essentially between Don Juan and the Devil. Shaw himself was a natural pessimist with a moral duty to discover the secret of optimism. The Devil opens the argument with a blistering attack. "Have you walked up and down upon the earth lately?" he asks Don Juan. "I have, and I have examined Man's wonderful inventions... in the arts of death he outdoes Nature herself, and produces by chemistry and machinery all the slaughter of plague, pestilence, and famine... his heart is in his weapons. This marvellous force of Life of which you boast is a force of Death. Man measures his strength by his destructiveness". Don Juan cannot deny this, but he accuses the Devil of looking wholly

into the past and insisting that the past repeats itself eternally. Don Juan himself looks to the future and its possibilities. His philosophy is a religion devoted to improvement, powered by science and called Creative Evolution. "Life is a force which has made innumerable experiments in organising itself," he says, "...to build up that raw force into higher and higher individuals, the ideal individual being omnipotent, omniscient, infallible". This will be the Superman, the creation of whom is "the purpose of life".

5/7 (木) : 保守党の勝利。年寄り達が保守党の明らかな嘘にだまされたのね。何も変わらない、つまり私たちは全ての問題に対して戦い続けて行かなければならないでしょう。私たちのキャンペーン政治家は犯罪者であるは、反対派に焦点を合わせることを目的としています。一方には少しの犯罪者が、そしてもう一方が世論。

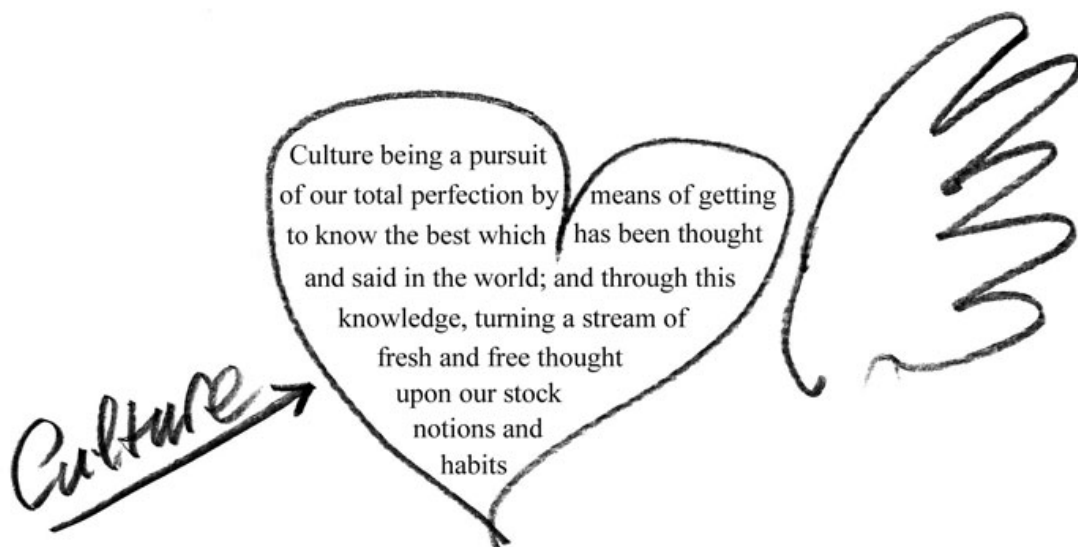
5/9 (土) : 友人のスーザンが泊まりに来ました。覚えていますか、私たちは18歳のとき先生になる訓練を受けている際に出会ったのです。彼女は私より2日年上です。夜、シンシアとピーター・オリーブと一緒にナショナル・シアターにエブリマンを観に行きました。またもう一つ別のファウストのテーマです。主演はキウエテル・イジョフォー、素晴らしい俳優です。脚本はキャロル・アン・ダフィーによって新しく書かれたもの。彼女の詩は本当に良いですね。ラップ調です。観に行ってみてください。エブリマンは中世イングランドの道徳劇でその物語は現在にも精通するものです。なぜならばエブリマン (エヴ) は自堕落で、消費して、家族や人生において、より上にある物 (神や神への行い) に対して無責任であることにより、人生を無駄にしたからです。神は使者に伝えます、神は清算を要求するので、たとえ彼が人生の盛りにいるとしても、死が彼を殺すことになる。

God/Good Deeds

What's God like? Me. Me. Hear my voice –
though I've been their shepherd, of their world the light,
have walked on water, raised the dead, self-resurrected,
so it's been said, turned water into wine . . .
or, verily, I was when nothing was
and I will be when nothing else remains;
sent several prophets to explain all this,
have clicked on like a pilot-light above apostles' heads,
and what they think I think is to be found
in all their Holy Tomes – Torah, Bible, Koran –
or scriptures –
that which is heard, that which is remembered –
despite all this, my prayer remains unanswered.
For I perceive here in my majesty
how all mankind grows worse from year to year,
cavorting with Wrath, Greed, Sloth,
with Pride, Lust, Envy and with Gluttony.
It seems that Everyman has had enough of me
or takes my name in vain. The angels weep
to see the ruin of the Earth:
the gathered waters, which I called the seas,
unclean, choking on themselves.
The dry land – fractured, fracked.
The firmament so full of filth,
my two Great Lights, to rule the day and night,
have tears in their eyes.

I gave the tree, yielding fruit,
whose seed is in itself; abundant fish,
great singing whales, winged fowl, cattle,
every living beast I could imagine. Behold, it was
all good,
all good. And now? All trashed. For why?
For Everyman liveth only for his pleasure.
Therefore, I will have Reckoning with Everyman.
Amen to that. I hoped well once that he
would make his mansion in my glory
and so I made him hero of the story,
the lazy, selfish, thoughtless, thankless fool.
But, should I show myself, he'd not believe.
I need a mighty messenger. Where art thou, Death?

エヴは事故にあい、死ぬ少し前に旅をします。彼の人生の回顧の旅です。そうすることで神に人生でどんな良い事があったかを伝えることができます。しかし彼は何も見つけることができません。そして自暴自棄に、何かをしようとします。良い場面は「親交」が去って行ったところです。そして彼、エヴは「所有物」から去り、クレジットカードを捨ててしまいます。彼はアルコール中毒者と共にゴミ置き場に座っています。彼女のお酒をシェアします。ペニー・レイデン（知識）がアルコール中毒者です。彼女だけが彼の死へと向かう先の唯一の仲間となるでしょう。知識が、彼の無知の実状に気付かせてくれます。（これは私の話ですが、私は神を私たちの完全なる概念と見ています。エヴは自身の深い好奇心を追求し世界を理解する事をしなかったのです。文化を通して人間の非凡な才能と交わること、神に敬意を払うことをしなかったのです。）



「エブリマン、私はなんじと共に行き、なんじの側にある最も必要な物の手引きとなるだろう。」
これは私の話です。知識は、私の人生が終わるまで私が必要とする友達です。知識はあなたが何かを個人的に本当に知っている時。それを見つけなければなりません。あなたが持つ深い好奇心に従い、物事を比較することによって。私のモットーは「あなたが取り入れたものを取り出す」です。エヴは死ぬまで知識を知ろうとはしませんでした。それにも関わらず彼女は彼を助け、気付かせ、神の恵から彼が得た愛と美を認識させるのです。

知識は彼の罪の代償を払うための悔恨を示唆します。彼は自身を鞭で打ち、割れたガラスの上を歩きます。昔、人々はノミが寄生した肌着を着て肌を痛めつけることにより苦行をなしたのです。エブリマンは自身の上着をアルコール中毒者／知識の臭い上着と替えようとします。



この場面は良いですよ。エブリマンと知識が床に座り、ゴミの壁が彼らの後ろに隠れています。壁は黒や色のついたゴミ袋をゴミで詰め、それらを完全に着たキャストが形作っていました。

他の場面でのコスチュームは、ちょっとだけありふれたものでした。誰も頭に退屈だな！という考えが初めて浮かんだのではないかしら。中世のコスチュームも視野に入れて、おそらく近いうちにこの劇を観に行くでしょうね。だってエブリマンはユニバーサルですから。音楽デザイナーが、モダンな音を与えてくれる古い楽器を見事に駆使しました。時代を超越しました。

エンディングは美しかったです。エヴは真実を伝えました。彼はかつて見た美しい物や愛の瞬間を思い出しました。彼はどの瞬間もそれを愛していたのです。神は掃除婦（死はダーモット・クローリー）のケイト・ダッチーンでした。彼女は感動していて、大変喜んでいるようでした。

もう一度言います、ナショナル・シアター。最高の演技です。プログラムにはいつもたくさんの知識があり、とてもよくデザインされています。劇としてのエブリマンがアントロポセン時代を言い及んでいるかのようです。キャロル・アン・ダフィー、私たちの桂冠詩人。誇りに思うべきです。



キウエテル・イジョフォー、ナショナル・シアターのエブリマンのリハーサル

5/10（日）：スーザンとおしゃべりし、午後に中国の陶器と美しいインドの彫刻を見に大英博物館へ行きました。月曜日、私は仕事に、スーザンは一人で町に行き、メアリー・ディレニーの展覧会に行きました。火曜日、スーザンは帰りました。

5/14（木）：午前9時40分、アンドレアスと私はクリストファー（マーケティング部長）とローラ（プレスヘッド）とNYへ飛びました。そこから私たちはアンドレ・レオン・タリーに会い、ジョージア州にあるサバンナに飛びました。アンドレが指導者、理事を務めるサバンナ芸術大学に行きます。アンドレはファッションの一部で、この世界ではとてもよく知られています。10代の時にダイアナ・ヴリーランドの弟子、アシスタントとなり、アメリカのヴォーグ誌の伝説的編集長アナ・ウィンターと仕事をしてきました。



サバナ芸術大学が功労賞として私にアンドレ・レオン・タリー賞をくれることになっています。私たちはそこで展示をしました。ドレス・アップ・ストーリー 1990年から現在に至るまで 過去25年間、アンドレアスと私が共に仕事をしてきた全ての物をカバーしています。サバナ芸術大学には絵画と家具と少しの応用美術のコレクションを抱える美術館があります。ア

ンドレアスはサバンナ芸術大学が私たちに予め送った写真から芸術品をいくつか選びました。特に私たちの展示環境を作るためイギリスの肖像画のコレクションから。彼は私たちのアーカイヴの部長であるラファエルとイングランドでこの仕事に取りかかっていました。ラファエルはその前に展示の準備に行っていたのでした。よくできていました。ラファエルは準備を手伝ってくれたサバンナ大学のチームに私からお礼を言ってほしいと望んでいます。

私たちは生徒達の卒業作品であるファッションショーを見ました。ショーは早くて巧妙に進んでしまいました。残念だったわね。それはあなたがパリにいるようなものではなく、誰もがあらゆるトップデザイナーのスケジュールに合わせてフィッティングの時間に焦らなければなりません。私はもっと長いこと見たいなと思いましたが。

生徒自身もモデルをしていました。どのデザイナーも平均して4型製作していました。そうすれば、良いことに、全体的に同質となる代わりに、ヘアやメイクアップ、それぞれのスタイルが自身の小さなコレクションとなるからです。中には才能や技術的に優れた人もいました。しかし私にはどれもストーリー性に欠けるなと思われました。私だったら彼らを押さえつけて、一人一人に歴史や民族群を調べるよう言ったでしょうね。一人の女の子のストーリーは建設作業員でした。それは良かったのですが、より深いセッティングが必要でしたね。プレスがたくさん来ており、インタビューもたくさんありました。

ポーラ・ウォレスが学校の創始者で、オーナーであり校長です。彼女は家族の持ち家売り、サバンナに引っ越しました。そこでビルを買い、学校を作ったのです。サバンナには古い建物がたくさんあり、そのまま手も付けられていなかったそうです。そこは風と共に去りぬの舞台で100年もの間下火になっていました。建物が安かったので、彼女はもっと買ったそうです。学校にはアトランタと香港、ラコステにある分校を入れて今11千人の生徒がいるそうです。町は今、再生されています。

サバンナで、みんなでシェアした家についてみなさんに話すべきだと感じています。それは「風と共に去りぬ」の家で、本物のホテルでした。ポーラの夫がそれを装飾しました。たくさん好奇心をそそられる物があり、どの絵画もどの置物もあえて選ばれているのです。だってどれも特異で奇妙なものでしたから。例えば、私たちの部屋のベッドの上にはどこかのホール並みのサイズの貴族の家から来ている巨大な分岐した枝付燭台がありました。暖炉から出ているのは誰かが集めたプラスチックでできた20頭の馬の群れ。それらは身動きとれず、煙突からやって来るかのようです。布や皮のカバーがかかった大きな古い本はどこにでも装飾として利用されていました。それらの本はスタンドランプの土台として従事させられていました。ローラの部屋では、本は暖炉やマントルピース、炉胸の上の棚を埋め尽くしていました。それらは青に塗られていました。

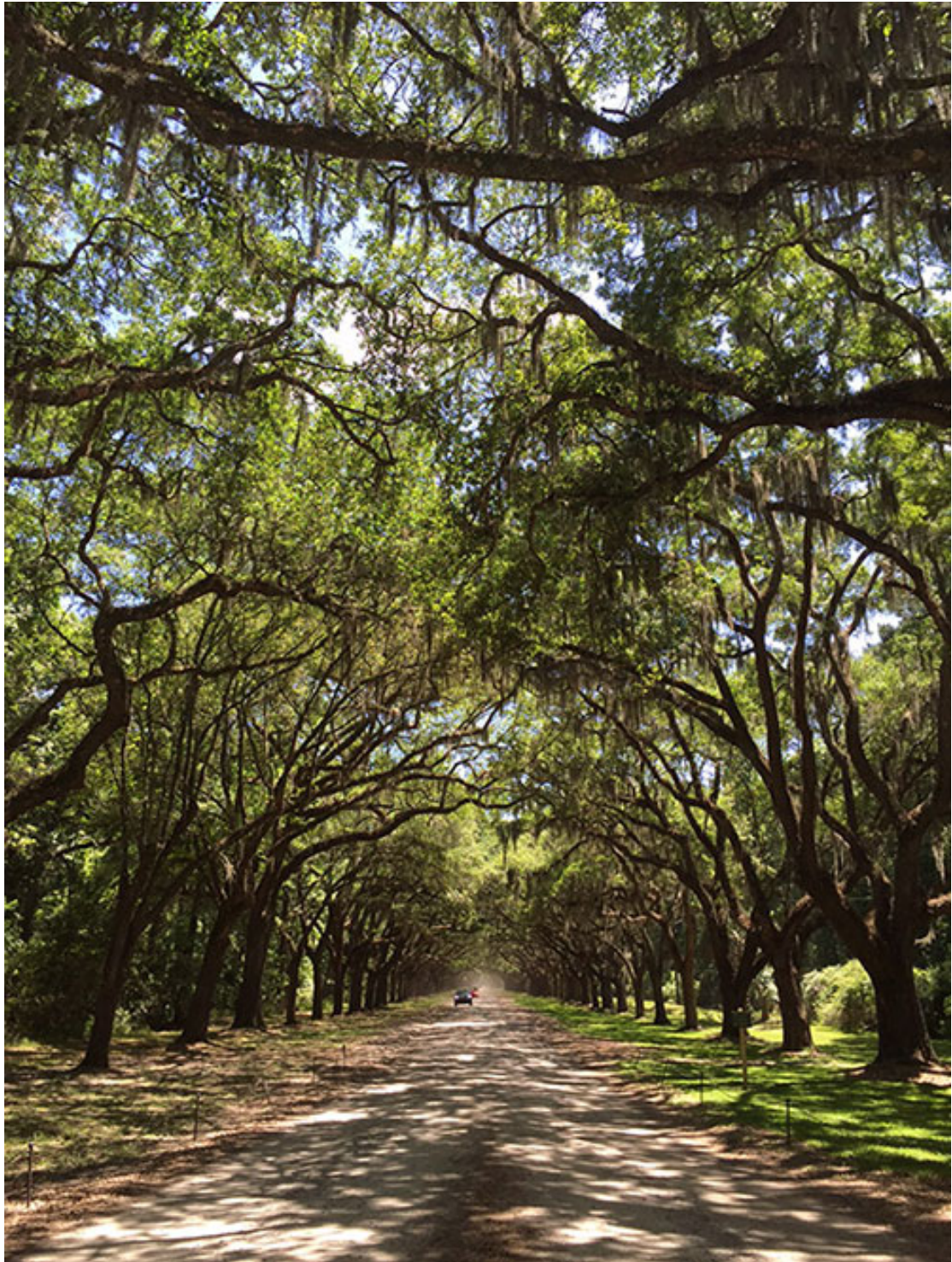
到着したとき、私とアンドレアスはポーラが持つ別の家に連れて行かれました。しかし私たちは他の人達と一緒に滞在したかったので、彼らの居る所に移りました。初めの家で好奇心をそそられたのは、そこにはたくさんの部屋（どの部屋にもバスルームがついています）があるのに、私たちだけが滞在していたことです。

これらバスルームにはどこにも真鍮でできたホコリタケ、タンポポの形をした、でも 20 倍もの大きさの時計がありました。それらは壁や天井、床のタイルにはさまっています。しかしタンポポの花びら部分が細いため、それらは実体がないように見え、そこに風で運ばれたかのような感じでした。壁際の流しの側にあるローテーブルの上で、アンドレアスは顔を洗った後タオルを取ろうと手を伸ばしました。そして頭をそのタンポポの一つにぶつけ、叫びました。彼の額にできた小さな穴から血がしたたり落ちていました。その時、私たちは他の家に移ろうと決めたのでした。

私たちは家の写真を全く撮りませんでした。だってどれも好きではありませんでしたから。侵略的な装飾です！しかしそれからその状況に慣れてきて、その装飾がフレンドリーで自宅のように思えて来ました。アンドレが食事をしにやってきました。素晴らしいヴェジタリアン料理です。食べたい物は何でも食べることができましたね。朝食ではグリッツに挑戦しました！

私たちは同僚との時間、そしてアンドレとの時間をとても楽しみました。もちろん私たちのオーガナイザーであり、運転手でガイドでもある、いつもアンドレのお世話をしているダニーとの時間も。そしてサバンナを満喫しました。アンドレアスは毎朝、夜明けの時間に「妖精の国」と名付けた場所に走りに行っていました。そこは博愛主義者のジョン・フォーシスにデザインされた広場の中にあり、熱さを避けるため、湿気を吸収するために大きな木があります。木は広く枝が広がったオークの木で、スペイン苔がぶら下がっています。スペイン苔は寄生植物ですが、着生植物でもあります。広場の間の小道に広がっています。一番の経験は、日曜の朝にアンドレが私たちを「最初のアフリカ人のバプティスト教会」であるゴスペル教会に連れて行ってくれたことでした。歌って、「魂」に魅了されます。

NY やアメリカ中からたくさんのプレスが来ていました。私は、政治家は**犯罪者**であるというキャンペーンをローンチしました。私たちはここにいる多くの生徒達とこのキャンペーンについて連絡を取っていくつもりです。またポーラと化石燃料の代替えに関してもっと話したいです。



このスペイン苔を携えた有名なオークの小道は、かつてはサバナ郊外にあるプランテーションへと続く入り口でした。

5/18 (月) : NYに戻りました。親愛なるアンドレに束の間のお別れを言いました。私たちがカーライル・ホテルに泊まれるよう手配してくれました。私は親愛なる友人、テリー・ドクターに会いました。とりわけ素晴らしいファッションのフォロワーです。彼は何でも知っています。政治についても。

アンドレアスは、新しくオープンするショップをチェックするためここに来ています。そしてローラとクリストファーはアメリカのPRを選ぶ仕事に

取りかかっています。私はテリーにショップのオープニングには来ないかもしれないと伝えました。二度とNYには来ないかもしれません。私は必要がある時だけしか旅行をしないのです。もう二度とテリーに会えないかもしれません！メトロポリタン美術館に現在行なわれている「ガラス越しに見る中国」の展示を見に行きました。彼の中国のコレクションから、イヴ・サン・ローランの、ポワレの、ディオールのデザインはショーの花を飾っていました。



メトロポリタン美術館：ガラス越しに見る中国—ヴィヴィアン・ウエストウッズのマオスーツ

残念なことに、その展示はいつもなら中国の絵画が展示されている部屋にまで続いて占領されていました。莫大なコレクションが定期的に変えられています。ここに行く時は以前も見たことがある絵画を毎回1つか2つ見ます。しかしそのほとんどが私には新しく見えるのです。私がNYに居る時は、ほとんどの時間をここで過ごしています（フリックコレクションに行く以外）。しかし今回はできませんでした。そうは言ってもメトロポリタン美術館は大好きなので他の物を見ました。だって私は違う時代に違う価値を持って生きた人達がどのように違っているのか知りたいのですもの。ヴァン・ゴッホの花の絵を見ました。薔薇が2本とアイリスが2本。

私たちはステラ・シュナベルと、彼女のかわいらしい友人で、キース・リチャードの娘のテオドラにも会いました。彼女とステラはパズと同じ学校に通っていたそうです。ステラとパズには写真撮影でどちらもモデルをしてくれた時に会いました。テイクアウェイのピザを取ました。（私はピザが好きではありません）レストランがうるさ過ぎたので、そうする以外方法がなかったのです。それから友人のサビーナのアパートに行きました。ローラとクリストファーも来ました。私はその日はサビーナとアンドレアスがブルックリンにある古着屋を見たいと言うので二人と一緒に過ごしました。サビーナはスーパースタイリストで、フリーマーケットのクィーンよ。彼女はまた次のショーの手伝いをしてくれるでしょう。



ヴィヴィアン・ウエストウッドを着るモデル、ステラ・シュナベル。写真はユルゲン・テイラー

ステラの写真を撮りたかったわ。彼女は古いドレスを着ていて、よく似合っていたのよ。彼女は魅惑的で、彼女の姿勢や声が神命の権限を与えているようよ。女優なのよ。彼女の最近のプロジェクトは私のヒンドゥーの友達と

いうオリジナル作品です。とてもオリジナルなもので、どんなものだったか思い出せません。だけどその作品の監督にとっても深いアイデアがあったことを聞いた時に私は本当に驚いたのです。何だったのか思い出さないといけないわね。そして皆さんにもお知らせしますね。お互いをとても楽しみ、そして多分酔っぱらっていましたね。みんなに政治家は犯罪者であるキャンペーンについて話したに違いないわね。

アメリカについてももう少し見てみましょう。もう二度と行かないかもしれないと言いましたから。それで私たちはサビーナが NY 北部に買った家に泊まりに行きました。

私はそこまでの道のりを楽しみました。車でハーレムを過ぎて、ジョージ・ワシントン橋の向こう側で、緑の森に入って行き、起伏する丘、まるでイングランドの大きい版みたいで、道路はほとんどガラガラ。3時間のドライブです。

サビーナの家はウッドストックから遠くはないアンデスにあります。ラムズゲートのようなもので、町中から、この場合 NY から越して来る人が多くなって来たそうです。アンデスに住むか、第二の家を買うか。イングランドよりたくさんのオーガニックやヴェジタリアンのレストランがあります。ここにも、もちろん町中や LA にもありますね。

私たちはサビーナの友人に会いました。カイとパートナーのジョンがパーティーのために料理をしてくれました。彼らの友人が亡くなり、その友人が彼の面白いコレクション、様々なオブジェを彼らに残したそうです。それらを彼らはオークションに出そうと計画しています。これは人がアーティスト的なイベントをする際に、他のオークションに出店する練習にもなるでしょう。それが結果としてオークションをするアートプロダクションとなるのです。初めはフラッキング反対にフォーカスを置き、キャンペーン用に資金を募ります。詳細を伝えることができるようになるまで待っておきましょう。



カイとジョンがオークションに出そうと考えている巨大なジーンズ

このエリアはNYが隆起していた時、牛乳や他の食物を供給し、リッチなエリアでした。しかし冷蔵庫と他の場所、特にカリフォルニアからの物流により、その重要性を失ったのでした。まだそこには農家や放置された農家の跡地、他古い土地や建物が残っています。私たちはそのうち一つの建物の中をのぞきに行きました。道具や機械は全て錆びた状態で残っていました。ある階には自宅でドレスメイキングするようのマネキンがあり、女性の生活を表していました。棚には靴箱に入った手紙が。私は一つ取り出してみました。

ランダムな日常の日記でした。

4

letter next time, June.
I'm mad at myself, now,
for buying it.
My Sister Bea, is
going to give me a "Charm-
Aire Permanent" in
3 more weeks. I can't
wait until I buy it.
I have to write
to a soldier now, and
I don't know how I'm ever
going to get his letter done
as I've tried as a dead
dog. Bye now. Love,
The

Sunday Note
January 9, '74

Dear Jaffie,
I know I should have
written sooner, but the
Drug Store has kept me
on the go, as usual.
First I want to tell
you that I am writing on
the stationery which my
niece, Audrey, gave me. There
are larger sheets too.
I got 2 more Xmas
presents which I didn't tell

3

delayed. He'll be home
around the 15th, and
that's almost here. Oh boy!
He got our report
cards the other day, and
I got all minutes, except
for an 85 in Am. History.
How are you making out?
You know, the station-
ery I gave you, looked
sick in the box when
I bought it, but now it
doesn't look good or what
it was worth. I'll do

2

you about. One is a
tailored red cloth jacket
with an open pleat in
the back. It's darling.
I got a green, sailor
dress, too. I'm not so
crazy about that, though.
I'd like to see your
blue dress. I bet it's cute.
Do you think you can come
up either for Lincoln's or
Washington's birthday?
I got a card from
my Paratrooper last week
saying his furlough is



手紙を見つけた小屋の外で

5/24 (日) : 午後 8 時 40 分に NY を発ちました。月曜日に帰宅。火曜日、仕事。私たちはスタジオの再建築の設計について話し合いました。今はちょこちょこ中途半端にできているのです。やり続けるのがベストではないので、より良い仕事環境のために再建築するべきだと考えます。

5/28 (木) : 午後コンドゥイット通りのショップに、私たちの賢いヴィジュアル・マーチャンダイジング部長のロレインによって企画装飾されたイベントに。私は不思議の国のアリスの 1 章を読みます。もちろん中でも有名な狂ったお茶会の章を選びました。彼は歌う時に時間を壊します。「トウインクル、トウインクル、リトルバット」ハートの女王に言いました。それで彼らの時間はお茶の時間である 6 時で止まったままなのです。



An Introduction

As a child, if I did something wrong I was stuck. I could not explain myself according to adult morality. I did not have the full perspective from which to argue. My reasons would be childish and inadequate to a grown up. I accepted this. But sometimes I knew the grown ups were wrong and I kept my opinions to myself.

Like most children, Alice wants to be grown up.

When Lewis Carroll dropped Alice into Wonderland, she became his agent in a conspiracy to undermine adult notions of logic.

There she is showing off those grown up habits of thought she has acquired, but the inhabitants of Wonderland see her as an opinionated, peculiar oddity.

At least the eccentric, bossy ones do. They are the ones who have big heads in Tenniel's drawings. And Alice is cut down to size with the help of Carroll. The games he plays with Alice empower her to think. In Wonderland nobody treats children with special care: "I *am* so hot and thirsty!" said Alice, "I know what you'd like!" the Queen said good-naturedly... "Have a biscuit?"

Carroll is a mathematician; fifty years before Einstein he introduces the theory of relativity. Nothing could be more relative than playing a game of croquet with a flamingo for a mallet and a ball that happens to be a hedgehog which runs away.

Things happen; Alice rationalises afterwards as one does in a dream. She can always wake up, as she does when she shouts, "You're nothing but a pack of cards!"

Kids! Never become complacent. The world we think we know reflects the way we are conditioned to see it. Maybe it's not like that at all. Carroll is on your side. Always wonder.

Alice in Wonderland is timeless but with my cover and endpapers, by adding the 'Climate Map' and the text, 'End Capitalism', I have helped fix it in the present moment. Contrary to appearances, this is the world we live in.

Winnie Westwood. ♡